

新型コロナウイルス感染症予防基本方針(2020. 9. 25)

志布志市立志布志中学校
校長 長元 武彦

1 基本的な考え方

本基本方針は、令和2年9月3日時点での最新の知見に基づき文部科学省が作成した、学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2020.9.3 Ver.4)に基づき、集団感染の防止を図りながら、3密を避けるため、次のことを基本原則として通常の授業を行う。

- (1) 「3つの密」を避ける。
 - ・ 換気が悪い密閉空間にしない。(密閉)
 - ・ 多くの人が手の届く距離に集まらない。(密集)
 - ・ 近距離での会話や大声での発言を控える。(密接)
- (2) 「人との間隔が十分とれない場合のマスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」など基本的な感染対策を継続する。
- (3) 「新しい生活様式」を導入するとともに、地域の感染状況を踏まえ、学習内容や活動内容を工夫しながら、可能な限り授業や部活動、各種行事等の教育活動を継続する。
- (4) 新型コロナウイルス感染症についての連絡等は、配布プリント及び安心・安全メール、本校ホームページで行う。学校で感染者が発生した場合は、関係機関と協議し今後の対応を知らせる。

2 基本的な感染症対策（・感染源を絶つ ・感染経路を絶つ ・抵抗力を高める）

- (1) 家庭での登校前の健康観察を徹底する。(発熱等の風邪の症状がある場合は出席停止)
- (2) 「人との間隔が十分とれない場合のマスク着用」や「手洗い」を徹底する。
 - ・ 感染症対策として、清潔なハンカチ・ティッシュ、マスク、マスクを置く際の清潔なビニールや布等を携行する。
 - ・ 登下校時も気温・湿度や暑さ指数が高い日にはマスクを外させる。(人との間隔が十分とれない場所や教室、通学時のバス・タクシー内は着用する)
 - ・ マスクを外す場合は、人と十分な距離を確保し会話を控える。
 - ・ 手洗いの徹底をする。(外から教室に入るとき、咳やくしゃみ・鼻をかんだとき、午前中1回以上、給食の前後、トイレ後、掃除活動後、共有のものを触ったとき等)
- (3) 授業中は窓や出入り口、廊下の窓を開けるなど換気を徹底する。
 - ・ 適時エアコンや空気清浄機を効果的に活用する。
- (4) 抵抗力をつける。
 - ・ 規則正しい生活を心がける。
 - ・ 十分な睡眠や適度の運動、バランスの良い食事をとらせる。
- (5) 「密集」「密閉」「密接」の3つの条件が同時に重ならないように授業形態を工夫する。(保健体育の授業等ではマスク着用の工夫をする。)
- (6) 教室や特別教室等には消毒液を設置し意識して消毒させる。

3 各教科等について

- (1) 可能な限り感染症対策を行った上、リスクの低い活動から徐々に実施を検討する。
- (2) 体育の授業に関し、医療的ケア児及び基礎疾患児、感染への不安の強い保護者等の意向を尊重し授業を行う。
- (3) 気温・湿度や暑さ指数が高い日など、熱中症等の健康被害が発生するおそれがある際は、マスクを外させる。

4 給食について

- (1) 給食前には、すべての生徒が手洗いを徹底する。
- (2) 給食は、グループを作らず正面を向いて食事をとる。
- (3) 給食着は個人のエプロンや三角巾を使用しても良い。(洗っていない給食着を使用しない。)
- (4) 共有する給食用お盆は使用せず個人のランチョンマットを使用する。

5 部活動について

- (1) 部活動は、十分な準備運動を行わせ生徒の怪我防止に留意して行う。また、可能な限り感染症対策を行った上で通常の活動を行う。
- (2) 生徒に発熱等の風邪の症状が見られるときは、部活動への参加を見合わせ、自宅で休養させる。
- (3) 部室等の利用は、短時間の利用とし、用具等についても不必要に使い回しをしない。
- (4) 他校との合同練習、練習試合、対外試合、演奏会等については、地域の感染状況等を踏まえ、学校・主催団体とともに責任を持って、感染拡大防止対策を講じて行う。

6 学校行事について

- (1) 全校で集まる集会活動等は、地域の感染状況を踏まえ、集合時の間隔を開け、マスク着用を徹底し可能な限り実施する。
- (2) 修学旅行、集団宿泊学習については、地域の感染状況を踏まえこれまでの感染症対策を徹底し、「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き」等を参考にしつつ、旅行事業者等と連携して実施する。
- (3) 外部講師を招聘する教育活動については、内容を検討して実施する。

(別紙)

教師の動きについて

【生徒登校後】

- 教師は教室前で生徒の検温状況を確認する。
(家庭での検温を忘れた生徒には職員室で検温させ、体温が高ければ微熱であっても家庭に連絡し帰宅させる。)
- 帰宅させる際は、管理棟1階で職員が生徒と共に保護者を待ち、確実に引き渡す。

【朝の学活】

- 健康観察を入念に行うと共に、生徒の様子を十分に観察し体調不良の有無を確認する。
- 家庭への連絡は、学年部及び養護教諭、管理職と連携を図る。
- 1日の手洗いや消毒について連絡する。(一日3回は手洗いさせる。)
- マスクを忘れた生徒には各学年で配布し着用させる。

【教育活動中】

- 手洗いや消毒を確認する。
- 生徒の様子をよく観察し体調面に注意を払う。
- 全学年が集まる集会や教育活動は、地域の感染状況を踏まえ、集合時の間隔を開け、マスク着用を徹底し可能な限り実施する。
- 昼休み時間の使い方に注意する。(3密を避ける。)
- 図書室の利用は当分3密を避けて、学級ごとに貸し出しを行う。マスク未着用者は入室させない。
- 教科指導で、次の活動を行わない。
 - ・ 音楽における狭い空間等での身体接触を伴う活動
 - ・ 家庭科の調理実習
 - ・ 保健体育科の密集する運動や組み合う活動
- 生徒が使う共有の手すり取手等は、こまめに職員が消毒液を使って消毒する。

【帰りの学活】

- 帰宅後の学習や家庭での過ごし方について確認する。
- 健康管理について十分注意するように確認する。